

# 令和6年度公共事業 再評価諮問箇所個別資料

まちづくり課 公園事業 1件

1 公共事業再評価諮問箇所一覧表、B/Cの考え方

P1~

2 個別事業箇所資料

- ・ 公共事業再評価諮問箇所「継続」理由書等
- ・ 再評価対象事業箇所調書
- ・ 個別箇所説明資料

① 公園事業（県立吉野ヶ里歴史公園）

P 3 ~

# 令和6年度公共事業再評価諮問箇所一覧表

まちづくり課

## 令和6年度公共事業再評価諮問箇所一覧表

No.	事業名	事業箇所 (地区名)	事業年度 (上段:前回) (下段:今回)	進捗率 (上段:前回) (下段:今回)	対応方針
1	都市公園事業	県立吉野ヶ里 歴史公園	(前回:H5~R8) (今回:H5~R8)	(R4:91.3%) (R5:92.5%)	継続
2					
3					
4					
5					
6					
7					

# 都市公園事業とは

## ○事業の目的

都市の中に緑とオープンスペースを確保する都市公園や緑地は、都市で生活する人々の憩いの場、レクリエーションの場であり、都市景観を潤いのあるものにする。また、騒音などの公害の緩和に役立ち、災害時の避難地ともなるなど、都市の生活環境として欠かすことのできないものである。



佐賀城公園

吉野ヶ里歴史公園

森林公園

## 都市公園事業のB/Cの考え方

### ○総便益(B):「直接利用価値」及び「間接利用価値」により計測

(内訳)

#### ◆直接利用価値【旅行費用法】

：公園を直接利用することで生じる価値を、公園の整備状況から需要を推計し公園までの移動費用等を利用して評価するもの

#### ◆間接利用価値【効用関数法】

：環境の維持・改善、景観の向上や防災に役立つ価値を評価するもの

### ○総費用(C):公園整備及び維持管理に要する総費用

(内訳)

◆事業費：公園整備に要する施設費・用地費

◆維持管理費：公園施設更新、補修等に要する費用

### ○費用対効果(B/C):総便益(B)/総費用(C)

## 令和6年度公共事業再評価諮問箇所「継続・中止」理由書等

(課名：まちづくり課)

事業名 (路河川等名)	都市公園事業 県立吉野ヶ里歴史公園
継続・中止理由	<p>○県立吉野ヶ里歴史公園は、国営公園と一体となって整備を進めており、吉野ヶ里遺跡の周辺環境保全及び公園として機能の充実を図っている。</p> <p>○吉野ヶ里遺跡の魅力を活かしながら、「地域振興の一翼を担う」公園として、東部地域の活性化の拠点となる公園を目指している。</p> <p>○公募設置管理制度（Park-PFI）を活用し、民間事業者のノウハウやアイデアを活用した施設整備・運営を実施することで公園の魅力の向上が図られる。</p> <p>○費用対効果について、<math>B/C=1.0</math> 以上 (<math>B/C=2.2</math>) が確保されている事業である。</p> <p>以上のことから、事業を継続することとしたい。</p>
B/Cの算出方法	<p>【 便益 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用便益 = 742.2 億円</li> <li>・ 環境便益 = 1,014.9 億円</li> <li>・ 防災便益 = 1,938.3 億円</li> </ul> <p style="text-align: right;">合計 = 3,695.4 億円</p> <p>【 費用 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業費 = 1,249.7 億円</li> <li>・ 維持管理費 = 432.1 億円</li> </ul> <p style="text-align: right;">合計 = 1,681.8 億円</p> <p>費用便益 B/C = <math>3,695.4 / 1,681.8</math>  <math>\approx 2.2</math></p> <p>【参考値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>費用便益 B/C = 3.1 (社会的割引率 2%)</li> <li>費用便益 B/C = 3.8 (社会的割引率 1%)</li> </ul>
備考	

令和 6 年度再評価対象箇所  
(対象：令和 4 年度再評価実施箇所)

(佐賀県公共事業評価実施要領第 2 条 (2) ④に該当する事業)

番号	項目	事業名 (路・河川名等)	事業目的	事業概要	事業の進捗状況	事業を巡る社会経済 情勢等の変化	費用対効果 の要因の変化	コスト削減や代替案 等の可能性	再評価理由	対応方針 (事業継続)																																
R4 再評価 時点	都市公園事業 県立吉野ヶ里歴史 公園	事業主体：県 事業地：神崎市、 吉野ヶ里町	都市公園の整備により、安全で快適、緑豊かな都市環境の形成を推進し、豊かな県民生活の実現を図る。 県立吉野ヶ里歴史公園は、国営公園と一体となって整備を進めており、吉野ヶ里遺跡の周辺の環境保全及び公園として機能の充実を図る。 吉野ヶ里遺跡の魅力を活かしながら、公園施設の利用を通じて、子育て世代をはじめ、幅広い年代の方が楽しむとともに、神埼・吉野ヶ里エリアの観光施設等と連携した利活用に取り組むことで、東部地域の活性化の拠点となる公園を目指す。	(県立) 全体事業費：227億円 (県立) 期間：H5～R8	R3末進捗率：約91% (事業費ベース)  (開園面積) 県営公園： 54.1ha (85%) 国営公園： 52.8ha (97%) 合計：106.9ha (91%)  (参考) 県営公園面積： 63.0ha 国営公園面積： 54.3ha 全体都市計画面積：117.3ha	平成13年4月に開園した当公園は、令和2年9月には累計入園者数が1,100万人を超えるなど継続的に利用され、依然としてニーズは高い。  (年間入園者数) 平成30年度：約77万人 令和元年度：約72万人 令和2年度：約43万人 令和3年度：約53万人	最新のマニュアルに基づき費用対効果を算出した。  (費用対効果) B/C=2.2	民間事業者のノウハウやアイデアを活用した施設整備・運営を実施する。	再評価実施後5年間が経過する前に事業費増額を行うため	継続  (理由) ・事業の必要性に変わりはない。 ・B/Cは1.0以上(2.2)が確保されている。 ・公募設置管理制度(Park-PFI)を活用し、民間事業者のノウハウやアイデアを活用した施設整備・運営を実施することで公園の魅力の向上が図られる。 以上のことから、当該事業の完成に向けて、事業を継続することとしたい。																																
R6 再評価 時点				(県立) 全体事業費：237億円 期間：H5～R8	R5末進捗率：約93% (事業費ベース)	(年間入園者数) 令和4年度：約68万人 令和5年度：約72万人	最新のマニュアルに基づき費用対効果を算出した。  (費用対効果) B/C=2.2 【参考値】 B/C=3.1 (社会的割引率2%) B/C=3.8 (社会的割引率1%)	同上	前回再評価時より事業費増額のため再評価	継続  (理由) ・県立吉野ヶ里歴史公園は、国営公園と一体となって整備を進めており、吉野ヶ里遺跡の周辺の環境保全及び公園として機能の充実を図っている。 ・県が誇る吉野ヶ里遺跡を体感できる公園として、公募設置管理制度Park-PFI)を活用し整備管理・運営することで公園の魅力の向上が図られる。 ・「地域振興の一翼を担う」公園として、東部地域の活性化の拠点となる公園を目指している。 費用対効果について、B/C=1.0以上(B/C=2.2)が確保されている事業である。 以上のことから、当該事業の完成に向けて、事業を継続することとしたい。																																
理由等				(事業費の増額) ・令和3年度から検討を始めた吉野ヶ里歴史公園官民連携推進事業において、詳細設計を進めた結果による増	<p>進捗率</p> <table border="1"> <caption>進捗率の推移 (事業費ベース)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>進捗率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>平成25年度</td><td>約78%</td></tr> <tr><td>平成26年度</td><td>約80%</td></tr> <tr><td>平成27年度</td><td>約82%</td></tr> <tr><td>平成28年度</td><td>約84%</td></tr> <tr><td>平成29年度</td><td>約86%</td></tr> <tr><td>平成30年度</td><td>約88%</td></tr> <tr><td>令和元年度</td><td>約90%</td></tr> <tr><td>令和2年度</td><td>約91%</td></tr> <tr><td>令和3年度</td><td>約92%</td></tr> <tr><td>令和4年度</td><td>約93%</td></tr> <tr><td>令和5年度</td><td>約94%</td></tr> <tr><td>令和6年度</td><td>約95%</td></tr> <tr><td>令和7年度</td><td>約96%</td></tr> <tr><td>令和8年度</td><td>約97%</td></tr> </tbody> </table>						年度	進捗率 (%)	平成25年度	約78%	平成26年度	約80%	平成27年度	約82%	平成28年度	約84%	平成29年度	約86%	平成30年度	約88%	令和元年度	約90%	令和2年度	約91%	令和3年度	約92%	令和4年度	約93%	令和5年度	約94%	令和6年度	約95%	令和7年度	約96%	令和8年度	約97%		
年度	進捗率 (%)																																									
平成25年度	約78%																																									
平成26年度	約80%																																									
平成27年度	約82%																																									
平成28年度	約84%																																									
平成29年度	約86%																																									
平成30年度	約88%																																									
令和元年度	約90%																																									
令和2年度	約91%																																									
令和3年度	約92%																																									
令和4年度	約93%																																									
令和5年度	約94%																																									
令和6年度	約95%																																									
令和7年度	約96%																																									
令和8年度	約97%																																									

# 令和6年度 再評価委員会

## 都市公園事業

よしのがりれきしこうえん  
県立吉野ヶ里歴史公園

神崎市、吉野ヶ里町

### 再評価理由

再評価時実施後5年が経過する前に事業費を増額するため

## 位置図



# 事業目的

- 都市公園の整備により、安全で快適、緑豊かな都市環境の形成を推進し、豊かな県民生活の実現を図る。
- 県立吉野ヶ里歴史公園は、国営公園と一体となって整備を進めており、吉野ヶ里遺跡の周辺環境の環境保全及び公園として機能の充実を図る。
- 県が誇る吉野ヶ里遺跡を体感できる公園として、既存施設を含め磨き上げることで公園の魅力を高める。
- 神埼・吉野ヶ里エリアの観光施設等と連携した利活用に取り組むことで、東部地域の活性化の拠点となる公園を目指す。

## 吉野ヶ里歴史公園の概要

### 公園概要

都市計画 決定区域	約117ha (国営約54ha、県立約63ha)
既開設区域	約107ha (国営約53ha、県立約54ha)

### 基本方針

1. 遺跡の保存と活用
2. 魅力ある風景・環境づくり
3. 新しい歴史文化の創造
4. 国際交流の拠点として
5. レクリエーション環境の整備
6. 地域振興の一翼を担う
7. 段階的な整備の推進

特に県立区域に  
期待される事項

県立「西口エリア」  
古代の原ゾーン

県立「北口エリア」  
古代の森ゾーン

県立区域



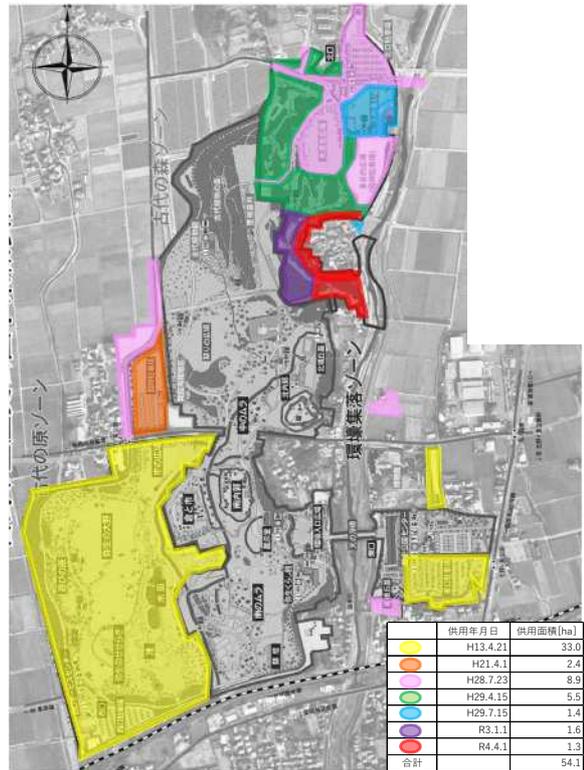
# 事業概要

○H5より事業着手した。

○H13.4の第I期開園（西口エリア33.0ha）に始まり、その後、R4.4まで7回に分けて順次開園し、現在54.1ha供用している。

○R3以降は、吉野ヶ里遺跡の魅力をもさらに多くの方に体感してもらうため、また「地域振興の一翼を担う」公園として、東部地域の活性化の拠点となる公園を目指し、民間事業者のノウハウやアイデアを活かした施設整備を実施している。

県立吉野ヶ里歴史公園 供用経緯



# 事業概要

## ■ 官民連携推進事業

県が誇る吉野ヶ里遺跡の歴史や魅力を体感できる公園としてさらに磨き上げるため、また東部地域の活性化の拠点となる公園を目指し、官民連携による整備を実施している。

現在は、公募し認定した計画に基づき、設計を行い、一部工事に着手している。

**吉野ヶ里歴史公園**  
日本最大級の弥生時代の環濠集落遺跡を有す公園。  
総面積117ha  
国営区域 54ha  
県立区域 63ha



東口エリア（国営）



<北口エリア>

宿泊施設

キャンプフィールド



<西口エリア>

交流拠点施設  
(レストラン、カフェ、物販等)

宿泊施設

キャンプフィールド

# 事業概要・進捗状況

## ■事業の概要

	前回再評価（令和4年度）	今回
事業費（億円）	227	237
事業期間	平成5年度～令和8年度	平成5年度～令和8年度
主要施設（県立）	西口・北口サービスセンター、広場、遊具、休憩所、水田、池、駐車場、自然体験施設等、拠点施設等	西口・北口サービスセンター、広場、遊具、休憩所、水田、池、駐車場、自然体験施設等、拠点施設等
費用対効果	2.2	2.2

## ■事業の進捗状況

	令和5年度まで	令和6年度	令和7年度以降
事業費（億円）	219.0	2.3	15.5
進捗率（%）	92.5%	93.5%	100%

# 事業見直しの理由

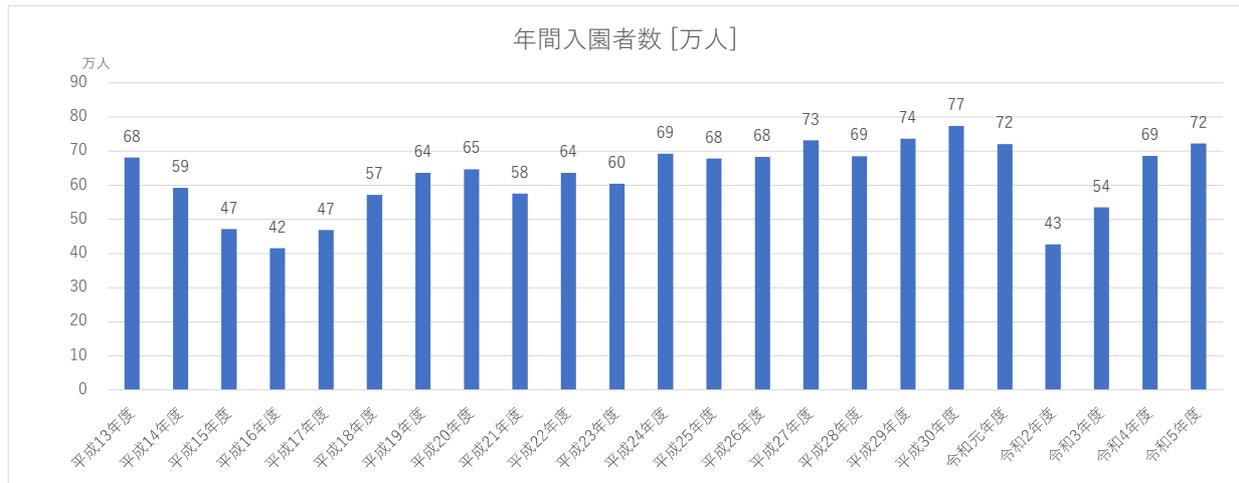
## ■事業費の増額

令和3年度から検討を始めた吉野ヶ里歴史公園官民連携推進事業において、詳細設計を進めた結果による増額  
（+9.4億円）

（主な増額理由）

- ・インフラ整備（電気、上下水道）（+3.4億円）
- ・管理施設整備（スマートチェックインゲート、侵入防止柵等）（+4.2億円）
- ・物価高騰、人件費上昇分（+1.8億円）

# 事業を巡る社会経済情勢等の変化



平成13年4月に開園した当公園は、令和5年度には累計入園者数が1,400万人を超えるなど継続的に利用されている。

令和2年度には新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて落ち込んだが、令和5年度には過去最高を記録した平成30年度の77万人の9割以上となる72万人まで回復しており、依然として公園へのニーズは高い。



## 事業の効果・必要性(費用対効果)

B/Cは1.0を上回っている。

事業全体	総便益 (B)	3,695.4 億円
費用対効果 (B/C) =	総費用 (C)	1,681.8 億円
		= 2.2

### 【参考値】

事業全体	【社会的割引率 2%】 費用対効果 (B/C) =	3.1
	【社会的割引率 1%】 費用対効果 (B/C) =	3.8

## 事業の効果・必要性(その他効果)

- 弥生時代の遺跡を有する唯一無二の公園を有することに県民が誇りを感じる。(存在価値)
- 歴史的資産である公園を未来へ大切に継承する。(遺贈価値)
- 公園への来訪者に周辺地域への周遊を促すことにより、地域活性化につながる。(経済波及効果)

## コスト縮減や代替案等の可能性

- Park-PFIを活用することで民間事業者のノウハウやアイデアを活用した効率的な施設整備・運営を実施する。
- 維持管理業務で発生した剪定木を園内の堆肥場でチップ化し樹木の根元に散布することで、雑草発生の抑制や霜害防止を図り、維持管理費の縮減を図る。



## 対応方針(事業課案)

- 県立吉野ヶ里歴史公園は、国営公園と一体となって整備を進めており、吉野ヶ里遺跡の周辺環境保全及び公園として機能の充実を図っている。
- 県が誇る吉野ヶ里遺跡を体感できる公園として、公募設置管理制度(Park-PFI)を活用し整備管理・運営することで公園の魅力の向上が図られる。
- 「地域振興の一翼を担う」公園として、東部地域の活性化の拠点となる公園を目指している。
- 費用対効果について、 $B/C=1.0$ 以上( $B/C=2.2$ )が確保されている事業である。



事業の完成に向けて、**事業を継続**することとしたい